

かえるの創作*

うそっぷ小話* 第5話

風邪【^{くわ}啞えた体温計】

風邪を引いてしまった・・・私です・・・

流行り風邪では無いと思いますが、喉からくる発熱のよう
です、微熱（7度5分）喉・咳・頭痛が7日も続きました
今日やっと風邪が抜けたようです、楽になりそうです



♥ ^{くわ}啞えた体温計 ♥

体温計で思い出した話です。

3年前の、また釣り仲間の事ですが、75歳は超えていると思
います、毎日が釣り三昧、日焼けした真っ黒な顔、明るい性格の
元気なへら鮎釣り愛好家の好爺の吉田さんの出来事です、

まあ～ 話を聞いて下さい

その日は風邪気味で、早めに家に帰ったそうです、

「^{ばあ}婆(妻)さん、風邪かなあ～、熱が有るみたいだ！」

^{おく}奥さんの事を^{ばあ}婆さんと云うらしい、体温計が薬箱に有るから計ってみな！と言われ、2～3回振って水銀の^さ下がったことを見てから、口に^{くわ}啜えたそうだ、今、流行りのデジタルでは無くて水銀中の体温計だそうです、

「この^{いんろう}印籠が目に入らぬか」再放送のTV—水戸黄門を見ながら体温計を^{のぞ}覗いてみたそうです。

「ワア～！～婆さん、^{すご}凄い熱だよ、^ふ振りきれてるよ！」

『どれ～、本当～だあ～！..直ぐ医者へ行ってきたな！』

首まで^{こたつ}炬燵にはまって水戸黄門に熱中の、婆さんはちらっと体温計を見ただけでTVの方を見てしまったそうだ、

『早く、行かないと終わっちゃうよ～』 「うん..」

もう直ぐ印籠の出てくる場面、水戸黄門に夢中の婆さん、TVへ顔を向けたままだそうだ

最近やっと、町村合併で村から町になったとは云え、家の周^{まわ}りは田んぼ、元農家の吉田さん、近くの^{おさなじみ}幼馴染の老(医師)先生

の所へ^か駆けつけたそうです、

「先生、^{すごい}凄い熱で…体温計が振り切れた、風邪らしい…」

先生は笑いなが吉田さんのおでこに手を当てて、言ったそうです

「吉田さん、体温が 41 度もあったら、歩いてこれませんよ」

「婆さんも見たんだ、確かに目盛りが振り切れいたんだ」

^{ほか}計るようとデジタルの体温計を渡されたそうです

38,3℃……「おかしいなあ～…」

おかしいなあ～??……デジタルを信用しない性格の吉田さんは、診察を終わって、薬をもらい、納得しないままだが、家に戻ったそうです、

「あの藪(医者)め!..ボケたかな!?!..大丈夫かよ!」

家に帰って、窓辺の明るい処で、もう～一度、体温計をよく見たそうです、

「なんだ?これりゃ～?」

体温計の目盛りが 38 度までしか無い!

吉田さんは始めて見たそうだ、男の人は見た事の無い人が多いかも知れない…………… 体温計の裏を見たら大きな文字で

【仁丹夫人体温計】 と書いてあったと云う

「あれには、参ったよ！」

釣り仲間と大笑いしましたよ

「婆さんの奴、今、幾つになったと思うよ、全く！・・・ 50 年も
前の婦人体温計をごしょうだいじ後生大事に持ってたんだよ、俺はそんな事し
らね～もん・・・ 婆さんも忘れてたそうだよ・・・」

「それで、吉田さんが婦人体温計を口に咥えてたと云うわけ
だぁ～！」

「・・・うん・・・俺も目が悪くなったけどよ～、婆さんの眼もだい
ぶくたびれてきたからな～～仕方がないけどよう～！」

それでおしま終いかと思ったら、吉田さんの話に続きが有った

「それでさぁ～ うちの婆さん、暇なもんだからよう～、この
話を近所の婆さん達におもしろ お か面白可笑しく話したらしいんだ、
『うちの爺さは、婦人体温計を・・・咥えて・・・熱が・・・熱が・・・』
とやったらしいんだぁ～～それがあの藪(医者)の耳にまで届
いていたらしいんだ！ 俺はそんな事しらね～からよ～この
間、特別検診へ行ったんだ！ そしたら言われちゃった
よ！・・・あの藪医者に！」

♥『今日は安全日でしたか?』♥ …だと……



……………はい…

..おしまい

かえるの創作・うそっぴ小話第5話…でした



2010-2-21日 作=かえる takahashi